

1000年後の 新見へ 手紙を書きませんか。

この町の、いまを、未来へ。

今から1000年前、1026年。

そこに生きていた人たちは、2026年の新見を想像できたでしょうか。

1000年後を思うと、今まで当たり前だった「いまの新見」が、少し違って見えてくるかもしれません。

なにを書いたらいいの？

今の新見のこと。
好きな場所や風景。
残っていてほしいもの。
なくなってほしいもの。
未来への希望や心配。
1000年後の人に聞いてみたいこと。
一言だけでも、長い手紙でも。
文章ではなく、絵でもかまいません。
きれいな未来を想像しなくても大丈夫です。
あなたが2026年の今、
思っていることを残してください。



参加方法

-対象-

新見に暮らしている人はもちろん、
新見にゆかりのある人、新見に興味のある人なら
どなたでも参加できます。

-募集期間-

2026年10月1日(木)～11月12日(木)

-手紙を入れる場所-

- ・新見市役所
- ・各図書館・図書施設
(中央、大佐、神郷、哲多、哲西)
- ・新見市観光協会
- ・新見美術館

※専用BOXを設置しております。
本物のポストには入れないでください。

封筒に入れる
場合は、封をせず
箱に入れてください。



1000年後に残すために

紙や書くものは自由です。
より長く残すことを考えるなら、
次の素材がおすすめです。

写真は
1枚のみ添付可

紙	中性紙／アシッドフリー(無紙) 上質パルプ100%の紙／和紙
書くもの	鉛筆／墨
写真	銀塩写真プリント

もちろん、身近にある紙やペンでも参加できます。
※これらの素材も、1000年間残ることを保証するものではありません。

会場でも手紙を書けます！

11/14(土) 11:00～17:00

11/15(日) 10:00～16:00

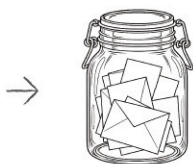
会場 まなび広場にいま

会場では、神代和紙をご用意しています。
一緒に手紙を書いてみませんか。

手紙のゆくえ



集まった手紙は、11月14日・15日に
新見市立中央図書館のガラス面に展示します。



→ 1000年の保存を
目指します。

展示終了後は、手紙を
ガラス瓶に収めて保存します。

新見千年レタープロジェクト

新見市アートイベント「マバタキノキラメキ」展示作品

企画・作家 垣上凜乃(かきうえりの)

2018 広島市立大学造形芸術専攻博士前期課程 修了
2026 新見美術館にて個展を開催
新見を拠点に活動

新見市出身のアーティスト。
彫刻を中心に、ものに宿る記憶や気配、時間について制作。
本プロジェクトでは、1000年後という遠い未来から
「いまの新見」を見つめる、市民参加型の作品である。

ご確認ください

- ・手紙は公開展示します。氏名・住所・電話番号など、個人が特定できる情報は書かないでください。年齢・年代、地名は記載していただけます。
- ・写真は、ご自身で撮影したもの、または使用する権利のあるものに限り、人物が写っている場合は、その方の了承を得てください。
- ・応募された手紙・絵・写真は返却しません。展示・再展示・記録・広報・保存・埋設など、本プロジェクトに必要な範囲で使用する場合があります。
- ・公開に適さない内容が含まれる場合は、展示しないことがあります。
- ・18歳未満の方は、保護者の同意を得てご参加ください。
- ・県主催事業として行うのは、募集・イベント当日の展示・封入までです。封入後の再展示、保存、埋設等は、アーティストによる作品制作の一環として行われます。

主 催 アートで地域づくり実践講座実行委員会・岡山県
後 援 新見市・新見市教育委員会
お問合わせ アートで地域づくり実践講座実行委員会事務局(岡山県環境文化振興課内)
TEL:086-226-7903(8:30～17:00/土日祝を除く) FAX:086-233-5720
E-mail:art-chiiki@pref.okayama.lg.jp

マバタキノキラメキ

ものがたりの源流へ



@ARTDECHIKI

この企画は、岡山県主催「アートで地域づくり実践講座」実証
イベント内でのアーティストによるワークショップ型展示になります。